

2008 年度微分積分学 A 期末試験問題 (担当 伊東)

以下の【問 1】、【問 2】、【問 3】及び選択問題から 1 つ、計 4 問を選んで答えよ。(配点  $25 \times 4 = 100$ ).

【必須問題】

【問 1】)  $f(x)$  は、全空間  $R$  で その  $n$  次導関数が連続であるものとする。このとき

$$f(x) = f(a) + \sum_{k=1}^{n-1} \frac{1}{k!} f^{(k)}(a)(x-a)^k + R_n, \quad R_n = O((x-a)^n)$$

と表せることを示せ。また剰余項  $R_n$  の具体的な形について論じなさい。

【問 2】(1) 数列  $a_1, a_2, \dots$  がコーシー列であることの定義をいえ。

(2) 級数  $a_1 + a_2 + \dots$  は第  $n$  部分和  $S_n = a_1 + a_2 + \dots + a_n$  に対し極限  $\lim_{n \rightarrow \infty} S_n$  で定義する。 $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n = 0$  は級数の収束する必要条件であるが十分条件ではありえないことを示せ。

【問 3】(1)  $f(x) = \frac{1}{(1+x^2)^2(3+x^2)^2}$  としその部分分数分解を

$$f(x) = \frac{a}{(1+x^2)^2} + \frac{b}{1+x^2} + \frac{c}{(3+x^2)^2} + \frac{d}{3+x^2}$$

とする。 $a, b, c, d$  を求めよ。

(2) 広義積分  $I = \int_0^{\infty} f(x) dx$  を求めよ。

【選択問題】

【問 4】(1)  $\log(1+x)$  のテーラー展開を用いて数列  $a_n = 1 - \frac{1}{2} + \frac{1}{3} - \frac{1}{4} + \dots + (-1)^{n-1} \frac{1}{n}$  は  $\log(2)$  に収束することを示せ。

(2) これを用いて奇数項について  $p$  項 づつまとめた

$$s_n = 1 + \frac{1}{3} + \frac{1}{5} + \dots + \frac{1}{2p-1} - \frac{1}{2} + \frac{1}{2p+1} + \dots + \frac{1}{4p-1} - \frac{1}{4} + \dots$$

( $n$  は右辺に現れる項の数) は如何なる値に収束するか決定せよ。

【問 5】(1)  $f(x)$  は考えている領域で 2 回連続微分可能で  $f''(x) \geq 0$  とすれば、

$$f(\lambda_1 x + \lambda_2 y) \leq \lambda_1 f(x) + \lambda_2 f(y)$$

が成り立つことを示せ。ただし  $\lambda_i \geq 0, \lambda_1 + \lambda_2 = 1$ .

(2) (1) が成り立つならば、 $n$  個の  $\lambda_i \geq 0$  ( $\sum_{i=1}^n \lambda_i = 1$ ) に対しても

$$f\left(\sum \lambda_i a_i\right) \leq \sum \lambda_i f(a_i)$$

が成立することが帰納法で示される。これを  $f(x) = -\log x$  用いて  $a_i \geq 0$  のとき 相加相乗平均の不等式

$$\left(\prod_{i=1}^n a_i\right)^{1/n} \leq \frac{1}{n} \left(\sum_{i=1}^n a_i\right)$$

を証明せよ。